

●岡田修平

1969年 大阪府池田市生まれ

工芸高校写真工芸科、在学中に川本武司氏に師事。

卒業と同時に「JRA関西広報カメラマン」として撮影を始める。

また師匠の勧めで大阪芸術大学写真学科に進学、卒業後フリーカメラマンとして活動。

競馬をメインフィールドに雑誌、ポスター、カレンダー、DVD等に作品を発表。

フランス凱旋門賞をはじめ、海外大レースの撮影に積極的に参加。

最近は、各インターネット媒体コンテンツへの写真提供もこなし、更なる飛躍を目指している。

●カジリョウスケ

1984年、福岡県北九州市生まれ。中学生の頃に小倉競馬場で写真を撮ったことをきっかけにスポーツ写真に取り組み始める。

2009年より馬術競技の撮影を始め世界馬術選手権やアジア大会など国内外の大会を取材。

22-23年に週刊Gallopで大学馬術部所属の学生と引退競走馬を取り上げる「CAMPUS LIFE」を連載。

主に優駿、Gallop、Number、競馬ブック、馬旅などで執筆、写真掲載。

●久保吉輝

写真家。1950年大阪市生まれ。

競馬専門誌優駿チーフカメラマンを経て2000年に事務所を設立。

おもな著書に

『ファンファーレ武豊写真集』

『競馬漂流』

『オグリキャップ写真集』

『ON THE TURF 久保吉輝写真集 1～5巻』

『カッシーノ 1～2巻』 (浅田次郎との共著)

『サイマー』など

●高草操

東京都渋谷区生まれ

写真家秋山亮二氏に師事

「日本の馬」をテーマに全国の馬産地や岩手県遠野を中心に撮影活動が続け、書籍や雑誌に写真や記事を寄稿するほか個展も開催（コニカミノルタプラザ、馬事公苑ホースギャラリー、遠野蔵の道ギャラリーほか）。またミニ情報誌「遠野馬通信」の責任編集・発行をてがける。著書は「遠野馬物語」（里文出版）、「人と共に生きる 日本の馬」（里文出版・2020年度JRA賞馬事文化賞受賞）。

●寺島一郎

1966年東京生まれ。エルコンドルパサーの凱旋門賞を見たことがきっかけで海外競馬に目覚め、英国、仏国、愛国の競馬場を中心に撮影、多くのインスピレーションを受ける。昨年に引き続き、展示させていただきますので、欧州競馬を中心に競馬場の美しさを表現しました。主な掲載は『優駿』。

今回の展示テーマは『The moment of the flat season 2022』

●浜野祐子

フリーの編集者を経て、1993年写真家今井壽恵のアシスタントとして競走馬の撮影を開始。

2007年独立し、現在は中央競馬や競走馬の牧場撮影をメインとして活動、そのほかにも各種動物写真を発表中。

iPhone・iPad写真集（AppStoreにて提供中）

『アクアマリンふくしまのサカナたち』

●若松亮太

1996年マヤノトップガンに魅了され競馬を撮影するようになる。

2008年フリーのカメラマンに。

スポーツイベントや舞台写真を撮影する傍ら、地方競馬場へ通い主催者等へ写真提供。2015年からはJRAオフィシャルカメラマンに。